



平成 20 年 8 月 6 日

各 位

会 社 名 クリナップ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 井上 強一
 (コード番号 7955 東証第一部)
 問合せ先 執行役員経理部長 田中 仁
 (TEL. 03-3894-4771)

平成 21 年 3 月期業績予想の修正
 および第 2 四半期末の配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 5 月 8 日の決算発表時に公表いたしました平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間(自平成 20 年 4 月 1 日至平成 20 年 9 月 30 日)の業績予想および第 2 四半期末の配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想数値の修正

(自平成 20 年 4 月 1 日至平成 20 年 9 月 30 日)

(連結)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	第 2 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成 20 年 5 月 8 日発表)	58,400	450	350	0
今回修正予想(B)	54,400	△800	△900	△1,250
増減額(B-A)	△4,000	△1,250	△1,250	△1,250
増減率(%)	△6.8	-	-	-
前中間期実績 (平成 19 年 9 月期)	54,759	△306	△352	△740

(個別)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	第 2 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成 20 年 5 月 8 日発表)	56,700	180	300	50
今回修正予想(B)	52,700	△1,000	△850	△1,100
増減額(B-A)	△4,000	△1,180	△1,150	△1,150
増減率(%)	△7.1	-	-	-
前中間期実績 (平成 19 年 9 月期)	53,149	△479	△148	△498

(2) 修正の理由

第 2 四半期の見通しにつきましては、景気は米国経済の後退懸念、原油価格等の高騰による企業収益の減少等、引き続き不透明感を強め、個人消費も諸物価上昇や賃金の伸び悩みから、弱含みで推移するものと思われまます。住宅設備機器業界におきましては、新設住宅着工戸数は、激減した前年水準は上回るものの本格的な回復には至らず、リフォーム需要も顕在化の契機を欠くまま推移するものと予想されます。

こうした状況下で当社は、平成 20 年 2 月に高級品クラスのシステムキッチン「S.S. サーボ」、

同3月に普及品クラスのシステムキッチン「ラクエラ」、同5月に「S. S. ライトパッケージ」と矢継ぎ早に新商品を投入し、全国ショールームを活用したリフォームフェア等より積極的な販売活動を推進してまいりました。また、生産面での原価低減、販管費圧縮等コスト削減にも努めてまいりますが、本格的な業績回復には、なお見極めが必要と思われま

す。以上により、第2四半期累計期間の連結および個別の業績予想につきましては、平成20年5月8日発表の業績予想を下方修正させていただきます。また、第2四半期末の配当金につきましても業績を鑑み、前年同期に比べ1株当たり5円減配の1株当たり5円に修正させていただきます。

なお、通期業績予想につきましては、当社を取巻く市場環境や景気の先行きの見極めが非常に困難なため、今回の業績予想の修正では開示しておりません。第2四半期の推移を判断の上、追って公表いたします。

2. 配当予想の修正

平成21年3月期第2四半期末の配当予想の修正

基準日	1株当たり配当金(円)
	第2四半期末
前回発表予想 (平成20年5月8日発表)	10.00
今回修正予想	5.00
前中間期実績 (平成19年9月期)	10.00

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上